

PaKoMa

DIY工房

納得のいく工具で
こだわって作る本格DIY

中島先生と作る

トレー付きラック

浅いものから深いものまで
4段のトレーが付いたラックです。
上にプリンターを乗せると、
上段のトレーがペーパー受けになり、
他のトレーは
プリント用紙のストックや
文具入れになって重宝します。



制作指導



日本日曜大工クラブ会員
中島 清先生

電動工具



NEW

充電 マルチ
インパクトドライバー
EZ6507

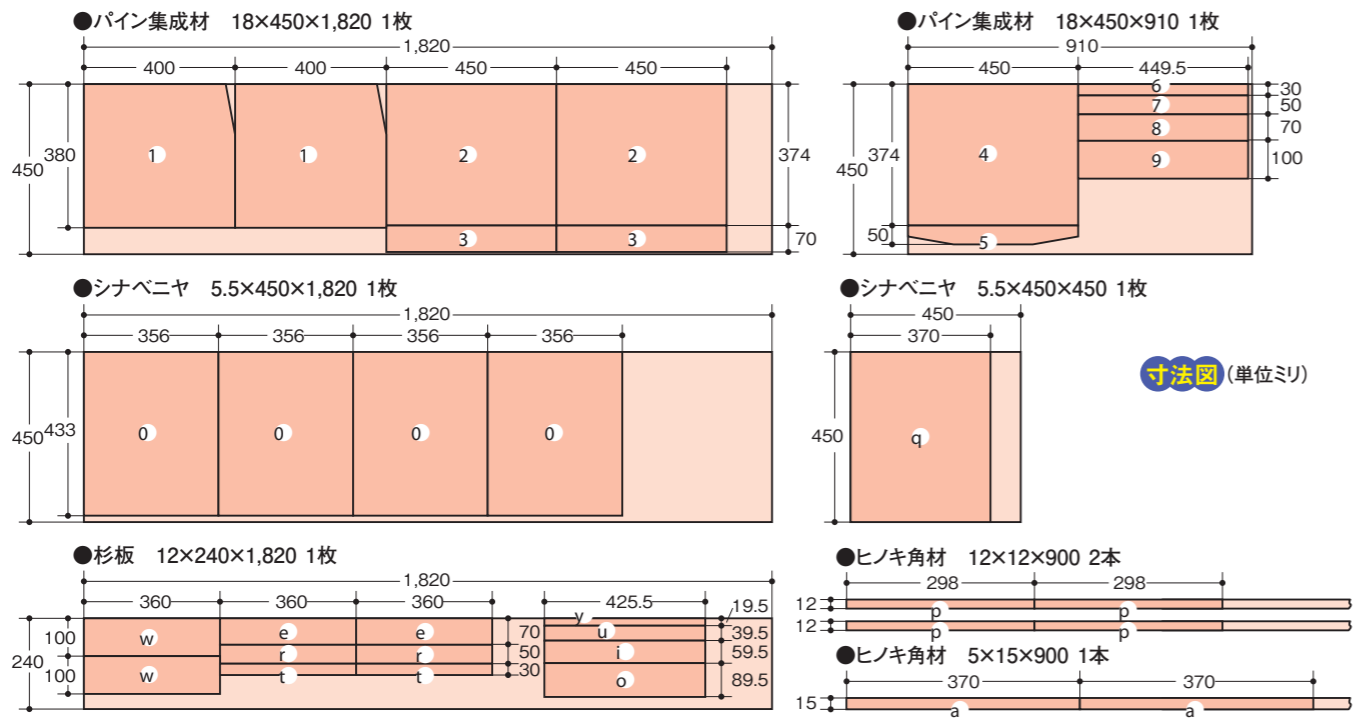


NEW

充電
インパクトドライバー
EZ7206

《工具協力》松下電器産業(株)

4段トレー付きラック
使い方がいろいろ。デスクまわりやリビングにあると、
小物や紙類がすっきり片付きそうですね。



寸法図 (単位ミリ)

接着後の固定ワザ

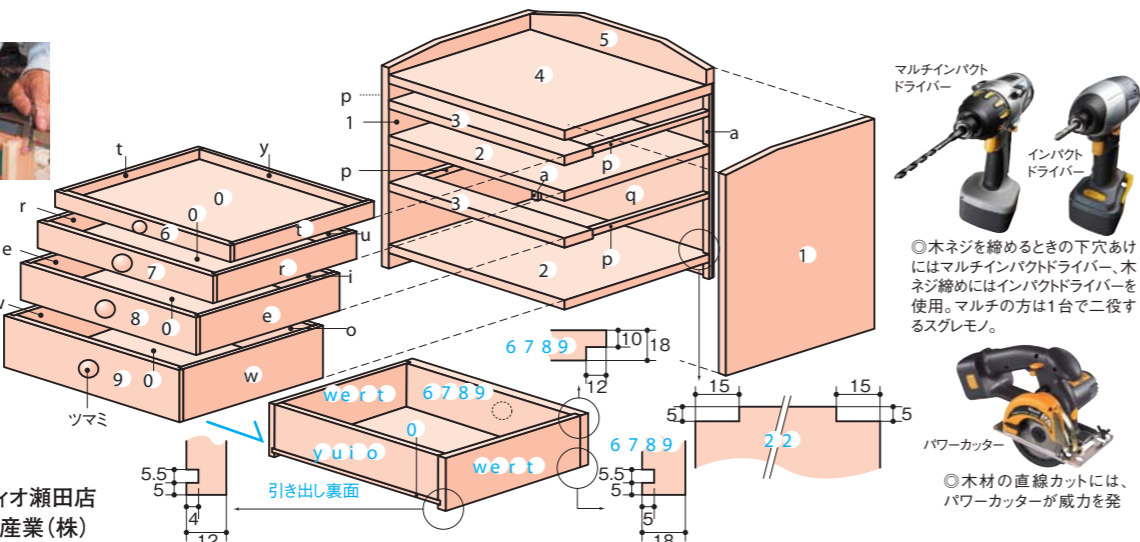


◎ハタガネで箱を2カ所挟んでしっかり固定する。



◎接着した面に「隠しクギ」を打ち、完全に接着した後、ペンチなどで引き抜く。

取材協力 / アヤハディオ瀬田店
電動工具 / 松下電器産業(株)



◎木ネジを締める時の下穴あけにはマルチインパクトドライバー、木ネジ締めにはインパクトドライバーを使用。マルチの方は1台で二役するスグレモノ。

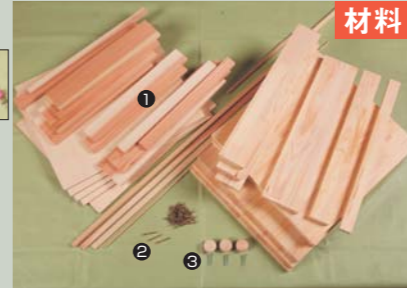


◎木材の直線カットには、パワーカッターが威力を発



工具・用具

- ①電動工具(パワーカッター、マルチインパクトドライバー、インパクトドライバー) ②ハタガネ ③カナヅチ ④木工用キリ
- ⑤カンナ ⑥ノミ ⑦カネジャク ⑧モノサシ ⑨ドライバービット(木工用、下穴あけ用、プラス) ⑩メジャー ⑪鉛筆
- ⑫細工ノコ ⑬ハンドサンダー ⑭木工用ボンド ⑮隠しクギ



材料

- ①木材/シナベニヤ・パイン集成材・杉板・ヒノキ角材・ラミン丸棒(直径5・8)
- ②木ネジ(40)
- ③木製ツマミ(直径25・34)

ラックの本体にトレイがピッタリはまるように作るの、なかなか大仕事。今回は4段のトレイ付きで、しかもトレイの深さがすべて違うサイズなので、できあがったら達成感も大きいものがあります。ラック本体の組み立てには、スイッチ一つでドリルドライバーにもインパクトドライバーにも切り替えられる、マルチインパクトドライバーや、パワフルなインパクトドライバーを使ってスピーディーに引き出しの組み立てには、接着剤と木のクギを使います。今回は中島先生の設計・指導とアヤハディオ瀬田店のDIYフロア長竹本さんの共同制作でお届けします。

トレイのたくさんあるラック作りにトライ!



引き出し受けの角材を左右2段分付ける。カンナで軽く面取りしてから木工用ボンドで接着し、隠しクギで固定する。



ラックの側板と棚板を付ける部分に、ダボ処理をする丸穴を木工用ビットであける。(マルチインパクトドライバー使用)



木材に図面どおりにスミ付けて、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるところもあります)。カットした後の木口をサンダーで磨いておく。



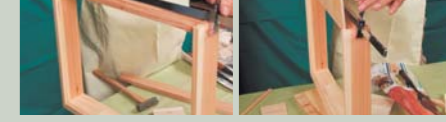
天板の上に山形の板を木工用ボンドで取り付け、ラック本体の後側の左右角に、背板固定用の角材を木工用ボンドで取り付け、背板をはめる。



側板と天板、棚板、底板を付ける。木工用ボンドで接着してから、マルチインパクトドライバーの下穴あけ用ビットで丸穴のセンターに下穴をあけ、インパクトドライバーで木ネジを締める。



引き出しの底板をはめるミゾ切り、箱を組む角落としをする。



引き出しを組み立てる。(木工用ボンドで接着し→隠しクギで仮止め→ハタガネで固定→完全に接着したら底板をはめる→木のクギ打ち) 同じ工程で4個の引き出しを組み立てる。



ノミやカンナで仕上げの形を整え、引き出しの前面にツマミを取り付ける。

こだわりのポイント

白木と木面の美しさにこだわる

せっかく白木材を使っているので、表面に木ネジのヤマを見せたくないという中島先生。そのための隠しワザは...



丸穴に丸棒を埋めて木ネジのヤマを隠す(ダボ処理)

ダボ処理については以前の号でもご紹介しましたが、ドライバービットが3種類(木工用・下穴あけ用・プラス)あれば、マルチインパクトドライバー1本で簡単にできるのでやり方を覚えておくと便利です。(①まず、木ネジを打つ位置に、木工用ビットで丸穴をあける(月)下穴あけ用ビットで下穴をあけ、プラスビットで木ネジを打つ(火)木ネジを打った丸穴の上に木工用ボンドをつけて丸棒を差し込み余った部分を切り取る(氷)木の表面をなめらかに磨く。

トレイの箱組みは接着剤と木のクギで

引き出しは、動きのなめらかさが仕上げの条件。そのため側板とふれ合う部分には、金属の木ネジは使いたくないので、木のクギを使います。木のクギは、市販でも売っています

が、3~5くらい細い丸棒で手作りもできます。先端をノミなどで細く削るだけ。キリで下穴をあけた位置にカナヅチで叩き込み、余った部分を切り取ります。切り取った表面はカンナやノミ、サンダーでなめらかに仕上げます。

ツマミも同色の木製で

全体を白木のイメージで統一するため、同じような木の素材のツマミを付けます。今回は市販の木製ツマミを使いましたが、手に入らない場合は、本体に似た端材で四角や三角に切り、オリジナルなデザインで作らしましょう。